**2022年度　活動計画書**

認定特定非営利活動法人　まちづくりネット東近江

１．はじめに

　私たちは「誰もがまちの創りになる社会をつくる」ことをビジョンに、「思いを形にしたい人達のあゆみに寄り添う」ことを大切に活動している。

　人口減少や少子高齢化は社会の課題として認知されているが、人間関係や地縁的なつながりが希薄化する地域では、解決への道は厳しいものがある。一方世界では、SDGsによる取組が始まっている。SDGsは国や政府、企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりにも密接に関わっていると考える。

　2020年から続くコロナ禍により、つながりの必要性が増え、地域自治組織や市民活動団体へオンライン支援を行うなど新たな連携も始まった。それと共に、リアルで出会い、話をする場や機会の大切さを改めて感じられたように思う。

　地域課題を解決するためには、市民が社会のニーズを把握し課題解決に向けて自主的に取り組むことが大切なので、市民の主体的な活動を応援するため「つながる」「ひろがる」「支え合う」のテーマで活動を行う。また、社会情勢を見極め事業へと活かしていく。

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ** | **事業内容** |
| **つながる** | ・交流促進と協働推進 |
| **ひろがる** | ・情報収集と発信 |
| **支え合う** | ・相談・コンサルティング  ・活動資金の調達支援事業 |

２．事業内容

**【つながる】・・・・交流促進・協働推進**

私たちのまわりには、社会の役に立ちたいという人々がたくさんいる。そうした人々に「つながる機会」を提供し、多くの人とともに課題を解決していく状況を作りだす。

「ほってはおけない」「何とかしたい」といった人たちの思いに寄り添い、市民の力を生み出す以下の活動を行う。

・わくわくこらぼ村の開催

・『共に考え共に創る』わがまち協働大賞の運営

・交流会の開催（オンライン含む）

・各種団体等との連携事業

・ラウンドテーブル（まちのわ会議）の開催

・公財）東近江三方よし基金との連携・協力

**【ひろがる】・・・・地域内の情報発信及び収集**

　活動を通じて感じたことや考えたことを周囲に発信することは、その発信を通して、取り組む課題や活動が広く社会に共有され共感者を増やしていくことにつながる。そうした情報発信の課題解決のための対策や政策提言などの内容に広げることで、多くの人たちが参加できるように活動の見える化や共有化を図るために事業を行う。

・広報誌にじまちの発行

・HP,SNSを活用した情報発信

・市民活動・地域活動等に関する情報の収集および発信

・パブリックアクセスの推進

・視察の拡充

**【支えあう】・・・・相談事業・コンサルティング**

市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

・各種団体等からの相談への対応

・講座の開催

・事業指定寄付制度にじまちサポーターズの実施

・事業運営サポート

　　HP、チラシ作成、会議の進行支援、会計支援、オンライン支援など

・多文化共生のまちづくり推進

・コミュニティビジネス支援

・

【**基盤強化**】

　　組織を強化するための取り組みを行う。

・会員拡大

・資金調達（自主事業・寄付）

・スタッフのスキルアップ

**３．事業スケジュールについて**

事業に関しては、別紙に「2022年度組織目標進行（管理）計画表」作成し、理事会や事務局会議で適時確認をしながら、進めていく。

**４．会議の開催について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **会議** | **回数（時期）** | **参加者** |
| 総会 | 年1回（5月） | 理事、会員、事務局員 |
| 理事会 | 年５回（5,8,11,1,3月） | 理事、事務局員 |
| 事務局会議 | 随時 | 代表、副代表、市の担当課、事務局員 |